

平成 19 年度林業生産流通革新的取組支援事業の選定実証課題

番号	モデル地域名	実施者名	実証課題	実施内容
1	岐阜広域	飛騨高山森林組合	山元選別による各工場への直送システム実証事業	輸送及び木材市場手数料のコスト削減等のため、間伐等素材生産地を団地化し、山元に大型トレーラーによる運搬が可能なストックヤードを確保し、山元における選別・仕分及び製材工場へ直送を行う。
2	岐阜広域	中濃森林組合	山土場・中間土場仕分けを活用した流通コスト低減と木材有効利用	輸送コストの低減と未利用材の有効活用のため、山土場・中間土場を活用した仕分けとロットの確保を行い、A材を製材工場、B材を合板工場、C材をパルプ工場、小径材を小径木加工工場へそれぞれ直送する。
3	中日本圏域	三井物産フォレスト株式会社	高密度路網と単胴ウインチ付きグラップル+フォワーダによる簡易集材システム	列状間伐施業が不適な地域の低コスト利用間伐の推進のため、高密路網と短時間で・簡易に・狭い幅員でも集材可能な単胴ウインチ付きグラップル+フォワーダの組合せによる簡易集材システムを実証する。
4	岡山	前田林業株式会社	山土場での仕分けと電子端末を使用した寸検および輸送トラックの大型化によるコストダウンの調査	製材工場への直送体制システムの確立のため、山土場・中間土場における選別・仕分け、ハンディターミナル「タフプロ」を使用する伝票化、大型トラックによる製材工場への直送を行う。
5	四国	徳島県森林組合連合会	ストックヤード（山元土場）仕分け・直送による低コスト生産流通システムの実証	幅員の広い林道沿いや緩傾斜地、集材距離が短い林分の一層の生産性向上のため、集材作業及びストックヤード（山土場）における仕分け作業でのロングアームグラップルの使用、グラップル車載型フォワーダによる積込、積卸、運材の実証を行う。
6	中日本圏域	愛知県森林組合連合会	急傾斜地における低コスト木材生産システムの確立と実証	急傾斜地において簡易作業路と高性能林業機械を活用した低コスト木材生産システムを実証する。併せて急傾斜地での作業路開設にノウハウについても調査研究する。
7	中日本	田中林業	木材流通・販売の	流通コストの低減を図るため、原木市場の協力

	圏域	株式会社	低コスト化システムの実証・確立	の下、中間土場を利用して選別し、直接製材工場へ大量に輸送することの工程調査及び改善点の検討を行う。
8	岡山	株式会社 戸川木材	造材時におけるマーキング仕分け	流通コストの低減のため、マーキング仕分機能を搭載したフィンランドケスラー社製ハーベスタを導入し、山土場で仕分を行い、製材工場へ直送する。ハーベスタの導入効果を検証する。
9	四国	久万広域 森林組合	立木購入方式の導入による新たな素材流通システムの構築	原木生産量の増加対策として、作業路と高性能林業機械を組合せた作業システムの実証、山土場から製材工場及び中間土場から製材工場へ直送の実証を行う。
10	大分	久恒森林 株式会社	高性能林業機械を活かしきる作業マネジメント手法の確立	高性能林業機械の活用による伐採から運搬の各作業を効率化、山土場作業の効率化、悪路安定化工法を取り上げ実証を行う。
11	熊本	有限会社 松島木材 センター	製材加工場からみた低コストによる素材生産と流通システムの実証	生産コスト、流通コストの削減を図るため、土木用機械と高性能林業機械の組合せによる素材生産に実証、山土場から製材工場への直送による流通コストの実証を行う。
12	熊本	株式会社 泉林業	山土場にて長径別仕分けによる直売先への直納	注文材の山土場からの直納によるコスト削減のため、素材仕分け、トラック積込み等作業工程の効率的な実施方法、輸送コスト等について調査・分析する。
13	宮崎	児湯広域 森林組合	低コストな木材生産・輸送システムの実証	作業コストの低減を図るため、実績の乏しい列状間伐の高性能林業機械を活用した新たな新生産システムでの実施、中間土場を利用したロットの大型化による輸送の実証を行う。
14	鹿児島 圏域	薩摩東部 森林組合	山土場及び新生産システム用土場を活用した選別・輸送コストの縮減による新たな流通システムの導入	流通コストの低減を図るため、現行市場の選別作業及びトラック輸送の作業内容・コストの調査・分析を行う。また、山土場での選別・直送するシステム及び中間土場からの大型トレーラーによる輸送システムの実証を行う。
15	四国地	徳島県林	素材直送を組み	物流コストの低減と安定した取引価格を実現

	域	材業協同組合	合わせた共同集荷システムの実証	のため、山元の生産現場で B,C 材を一次選別し直送、A 材は中間の貯木場で、共同集荷システムを構築により取扱い規模を拡大し、二次選別する。選別材は材種毎に量と質の確保を行い、トレーラー輸送を主体に行う。
16	宮崎	宮崎県造林素材生産事業協同組合連合会	ストックヤードとしての原木市場の新たな活用方法及び輸送の効率化の検証	原木市場をストックヤードとして利用する。ストックヤードの新規整備費用の削減と山元での径級・長さ等による大まかな仕分により原木市場の選別費・検収費の削減を図る。また、往復輸送による効率化を図りコストを削減する。
17	宮崎	耳川広域森林組合	低コスト間伐生産システム実証事業	生産・流通コストの削減を図るため、間伐作業にスイングヤード・プロセッサ等高性能林業機械による作業システムを導入するとともに、中間土場での選別を行い工場等に直送する。